

## 体験 挑戦 伝承 創造

### 遊びプロジェクト～けん玉編～

6月30日(月)に子供達全員にけん玉を貸与しました。これは、本校のエコ活動が評価され、その際にいただいたお金で購入したものです。

本校では、本年度から遊びプロジェクトを推進しています。テーマは、「挑戦」「伝承」「創造」です。その中で、けん玉は、様々な技に挑戦することを目的としています。

開始にあたって、全校朝会には地域のけん玉名人を3名お招きしました。遊ぶ時に気を付けることを教えていただいたり、技を披露していただいたりしました。また、けん玉を得意とする子供達4名にも、その実力を発揮してもらいました。

休憩時には、教室からけん玉の「カチカチ」という音が聞こえてきます。少しでもレベルを上げようと練習しています。



挑戦



けん玉は、遊びプロジェクトの第一弾です。夏休みには、子供達が保護者の方々に遊びについて聞き取りをします。また、保護者の方々や地域の方々から、子供の頃に親しんだ遊びを紹介していただく場を設けようと考えていますので、ご協力ください。

### ふれあい交流クラブ

7月7日(月)、本年度第2回のふれあい交流クラブがありました。「篋の絆No. 3」に続き、今回は、2つのクラブの様子を写真で紹介합니다。



囲碁クラブ

丁寧なご指導をいただき、子供達も充実した時間を過ごしています。



工作クラブ

地域の方々から学ぶことを通して、地域に愛着をもつ子供に育ててほしいと願っています。

## 花いっぱい運動

6月19日(木)には、花いっぱい運動に先駆け、クリーン朝会において全校児童がプランターに花の苗を植えました。21日(土)には、入野駅前と学校周辺において、花いっぱい運動を行いました。多くの皆様のご協力のおかげで、地域を美しくすることができました。ありがとうございました。

花いっぱい運動に向けた取組は、本校が推進しているESD(持続発展教育)の一例としてとらえることができます。このように学校の取組と地域の取組をつなげることにより、地域に貢献する子供を育てていきたいと考えています。



つなげる



## ESD校内学習

ESD校外学習について、「篋の絆No. 3」では4年生の「ごみ学習」と5年生の「田植え」を例に挙げお伝えしました。ESD校内学習においても、マイタウンティチャーから子供達は多くの学びを得ています。1年生は、茶道クラブの先生方や児童に支えられながら、入学茶会を実施しました。3年生は、本校の前校長吉國玲子先生をお招きし、入野小学校の歴史について学びました。それぞれの学年において、地域の方々と「かかわり」「つながり」、心を耕しています。



## 夏休みに向けて防災教室・非行防止教室

夏休みを迎えるにあたって、6月16日(月)には「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」というテーマで防災教室を、7月10日(木)には非行防止教室(講師:スクールガードリーダー 榎野芳男 先生)を実施しました。「このような場面に出会ったらどうする?」と具体的な場面が提示され、どのように行動することが望ましいのか考える機会となりました。適切な行動を「理解する」に留まらず、「実践する」子供になってほしいと思います。

自然災害への対応や非行の未然防止に関わり、どのように行動するとよいか家族で話し合っておいてください。

# いじめ防止アンケート

6月に実施しましたいじめ防止アンケートの結果をお知らせします。

平成26年7月4日

## いじめアンケート集計結果

児童アンケート			
質問	はい	137人中	
1 あなたは、いじめをうけていますか。	7%	9人	
2 あなたは、人(ひと)をいじめていますか。	4%	5人	
3 あなたは、いじめられている人(ひと)を見(み)たことがありますか。	11%	15人	
4 あなたは、いじめられている人(ひと)がいると聞(き)いたことがありますか。	10%	14人	
5 学校へ行きたくない日がありますか。	10%	14人	
6 名前を変えてからかわれたり、よびすてにされたりして、いやな気持ちになったことがありますか。	12%	17人	
7 ふざけて、たたかれたり、けられたりしたことがありますか	13%	18人	
8 ものをかくされたり、こわされたりしたことがありますか。	7%	9人	
9 いじめについて、先生(せんせい)に伝(つた)えたいことがある。	16%	22人	

## 保護者アンケート

質問	あてはまる	137人中	わからない
1 あなたの子どもは、いじめを受けている(受けていた)。	7%	9人	10%
2 あなたの子どもは、いじめをしている(していた)。	2%	3人	12%
3 学校でいじめがあると聞いたことがある。	7%	9人	31%

児童及び保護者の皆様から「はい」または「あてはまる」という回答があった場合、学校では次のように取り組んでいます。

- ① 該当する児童から事実を聞きとり、その内容を整理する。
- ② 管理職をはじめとする関係職員の間で、①について情報を共有し、指導及び支援の方針を確認する。
- ③ ②に基づき、該当する児童や学級・学校全体へ指導や支援等を行う。
- ④ ①から③までの内容を該当する児童の保護者へ報告する。

ちょっとしたふざけでも、相手はいじめと覚えることも多くありました。家庭でもいじめは絶対許されないことを指導してください。

# 学校評価

本年度は、次の表に基づき、学校評価を行います。日々の取組を振り返り、指導の改善に生かしていきます。

平成26年度		学校評価自己評価表				
学校教育目標		学ぶよろこびのある入野小教育の創造 ～志を高くもち 未来に向かってかがやく入野っ子の育成～				
経営理念		M(ミッション): 学校組織として徹底して指導しきる教師力を高めていく。 学習指導と生徒指導の一体化を図った授業づくりを進め、確かな学力を伸ばす。 地域の人・もの・こと(文化)とつながり、児童のふるさと意識の醸成につなぐ。 V(ビジョン): 基礎・基本を定着させ、知徳体のバランスのとれた学力の向上を図る。 『つながり・かかわる』入野型ESDの研究を進め、家庭・地域と一体となった教育活動を展開し、信頼される学校をつくる。				
評価計画						
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値
確かな学力	1	児童の実態を踏まえた基礎学力の向上	(1)基本(読み・書き・計算)及び活用する力の定着	・基本と活用をテーマとした授業観察を実施し、課題と改善の手立てを明確にする。 ・学力向上年間計画に沿って学び残り・補充体制を確立する。(個別指導) ・学習規律(入野っ子のきまり)を定着させる。	・国語・算数の単元末テストの到達率(学級平均) ・標準学力調査の平均通過率全国標準スコア	85% 51点
			(2)ESDの視点に基づいた授業改善の推進	・ESDカレンダーに基づき、「かかわり」「つながり」を意識するとともに、つきたい力及び評価指標を明確にした授業を実施し、職員相互で評価する。 ・ESDの視点に基づき、課題設定や振り返りを工夫することより、児童に自己の変容を実感させる。	・2回目の授業評価平均点が1回目を上回っている教職員 ・児童の意識調査(肯定的評価の割合)	85% 90%
			(3)家庭学習の習慣化と個に応じた指導の徹底、自主的な学習意欲の向上	・家庭学習と連動した授業を実施する。 ・学習ガイドの作成・指導・配布し活用をする。 ・ノートコンテストを年3回実施し、望ましいノートづくりを普及させる。	・自主学習(予習または復習)を実施している児童の割合 ・家庭学習実施時間(学年×15分間)の定着8割の児童の割合	85% 85%
豊かな心	2	特色ある学校づくりの推進	(1)東広島スタンダード(挨拶、返事、言葉遣い、履物揃え)を基にした行動様式の習慣化	・小中接続・一貫教育推進協議会の取組を踏まえ、めざす児童像を明確にして指導する。 ・「市内で一番スタンダードのできる町」キャンペーンを展開する。 ・保護者・地域の方々へ情報発信を行い、東広島スタンダードの実施を家庭及び地域に広げる。	・児童評価(肯定的評価の割合) ・他者(保護者)評価(肯定的評価の割合)	85% 85%
			(2)互いを思いやる温かい異年齢集団の育成	・高学年が中心となって考案したメンバー全員が楽しめる縦割り遊びを月2回実施する。 ・教師や保護者、地域住民が伝承遊びを紹介し、休み時間における実施を奨励する。 ・役割を細分化し職員と協力する縦割り清掃活動を毎日実施する。	・アンケート項目における児童の自己評価(肯定的評価の割合)	85%
			(3)心を耕す教育、和文化的体験活動の充実	・ふれあい交流クラブを実施する。 ・地域の人材を生かした学年独自の体験活動を年に2回以上実施する。 ・「まなぶちゃんノート」への取組状況について学校で表彰する。 ・応募作品について学校で表彰する。	・「まなぶちゃんノート」提出率	160%
健やかな体	3	基本的な生活習慣の推進と体力づくりの推進	(1)体力づくり推進計画の確実な実施と記録の更新	・朝体育のメニューと体育的行事を運動させる。 ・運動に係る各種検定(例:なわとび検定)を実施する。 ・遊びプロジェクトで遊びを伝承、普及する。 ・外(雨天の場合は室内)遊びを奨励し、取組状況を校内に掲示する。	・本校の課題として挙げている新体力テストの項目において学校が設定した目標を達成した児童の割合	85%
			(2)基本的な生活習慣の習慣化(早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き)	・生活改善週間の定期的な実施と家庭への協力を依頼する。 ・朝食摂取に課題のある家庭を啓発する。 ・給食時間を活用した給食及び食育指導(栄養問題への取組を含む)を実施する。	・生活点検カードに示されている目標を達成した児童の割合	85%
しなやかな態度	4	自己肯定感の高揚	(1)自己の変容を実感できる日常的な取組の充実	・諸事徹底プロジェクトで生徒指導の三機能を意識した取組を行う。 ・児童の目標と振り返りを一連のものとしてマネジメントさせる。	・児童の自己評価(肯定的な評価の割合)	85%